全国保育実践交流会ニュース
（島根）2019年1月号発行

松江部・出雲部　各地で合同リズム交流

今年度から島根県全体での交流から、松江部、出雲部ふたつに分かれての交流をすることになりました。島根県全体で子どもの数が 240 人近くになり、丁寧に子どもの様子を見ることが難しくなっていました。分かれて交流することで、今までにない新たな取り組みも生まれています。各年齢別会は今までのように県全体で集まって学び合うことを大切にしていき、各地区の独自性も生かしていきたいと考えています。遅くなりましたが、今年度前半の取り組みを報告します。

＜川登保育園の新園舎＞

年長交流

<出雲・石見部>

出雲・石見部では、年間 6 回のリズム交流を、川登・大田こばと・こぐま・神門・神門第Ⅱ・古志ひまわり・ひまわり第 1 ・ひまわり第 2 ・おおつの 9 園で行っています。毎年リズムでの交流の前に、自然の中で思いきり遊ぶことで、楽しさが共有できたらという思いで行っている芝滑りを、今年も大田市民公園の中にある斜面を使って楽しみました。その日は、8 園での交流となったのですが、140 人の子どもたちが、高さ 10 メートル近くの斜面を段ボールや米袋を使って滑りおりていました。中には 2 人 3 人と連なったり、横になって転げまわったり、いろいろな滑り方を考えて楽しむ子どもたちでした。

＜大田こばと保育園と新園舎とこどもたち＞

また今年は、改築移転で新園舎になった川登保育園と、今年度より認可保育園になると同時に新園舎となった大田市のこばと保育園へ、出雲・石見部の園長会で園舎見学に行きました。それぞれに、その地域性を生かしたつくりは、自分の園の環境を見直すきっかけとなり、保育の環境について討議も行いました。

<松江部>

5 月・6 月・9 月と 5 園（わかたけ・こばと・虹の子・たけかや・あゆみ）でリズムを中心に交流してきました。7 月はこばと・虹の子・あゆみで大山合宿。10 月はわかたけ・こばと・虹の子・あゆみで三瓶登山合宿。更に今年は松江部だけでの初めての取り組みで、県立青少年の家での合宿をしました。紅葉が美しい木々や神秘的な池を見ながら山を散策し、登ったところの一畑薬師ではみんなで記念写真を撮りました。帰りは 1400 段の階段を下り、冬イチゴやむかごなどをとりながら、ゆったりと 10 キロの道のりを歩きました。次の日はみんなでリズムを楽しみました。夏のあそびが充実していた子どもたちは、体もしっかりしてきました。人の話を聞くまなざしも真剣で、成長を感じる子どもたちの姿でした。

＜一畑薬師で記念写真＞

あと 12 月・1 月・2 月と交流リズムがありますが、子どもたちを丁寧に見合いながら過ごしたいと思います。
特に今年は松江部だけで最後の合同リズムをすることもあり、会場、内容などしっかり吟味して迎えたいです。

＜楽しかった「なーみなーみわんわちゃくり」＞

学び合い

＜リズム研修＞　9 月 15 日（土）9：30～12：00

新しい職員が増える中、リズムをしっかり学びたいという声が多くなっています。今年は錦織さんを中心に園長が研修会を開きました。初めに歌をうたい、基本のリズム、後半は年長リズムを学びました。リズムあそびが子どもの発達を促すことや、それぞれのリズムあそびの特徴を学び、特に基本のリズムでは、日々の保育に生かせるように、介助の仕方を研修しました。リズムの中で気になる子がいても、なかなか前に出て介助ができないという、若い人の声もあり、今回の学びは参考になったと思います。

- 1 年目でまだリズムについて知らないことだらけだったので、細かいところまで教えてもらいよかった。（松江こばと保育園）
- わかったつもりでも、改めて体で感じたり聞いたりすることは大事だと思った。（わかたけ保育）
- リズムに向かう大人の姿勢など指摘されたので、日々の保育を考えさせられた。（虹の子保育園）
- 実際介助してもらうと、普段意識しているつもりでも、動きが雑であることがよくわかった。定期的に学ばないとなかなか身に付かないと思った。まず、自分も楽しんでリズムをしていきたいと思った。（わかたけ保育園）

＜山口平八講座＞

9 月 15 日（土）13：30～16：00　　9 月 16 日（日）9：30～11：30

本当に久しぶりに山口平八さんに来ていただき、子どもの発達を学ぶ機会を持ちました。若い人の中には初めて山口さんの話を聞く人もいて、乳児から 6 歳にかけての発達を学び、各期の運動・行動・あそびについての特徴について詳しく話されました。0 歳から 6 歳までの発達を系統立てて学びなおす貴重な時間になりました。2 日目は、実際に子どもの身体に触りながら、発達を促す働きかけを学びました。

- 携帯の電磁波が子どもの体の緊張を高めていることを知り、恐ろしくなった。それぞれの年齢の発達について詳しく知ることができ、発達にあった手だてをしていきたい。マッサージよりあそびの中で子どもの身体を作っていくことを改めて考えることができてよかった。（松江こばと保育園）
- 実際に子どもを見ながらの話はよく分かり、頭に入りやすかったです。心と体が深くかかわりあいながら成長していることや、体の仕組みについても興味深く、これからも学びながら子どもたちに返していけたらと思いました。（神門保育園）

＜各年齢別会＞

このほか、各年齢別・給食・看護師部会にわかれに保育を見ながら交流して学んでいます。